

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年2月19日 (2015.2.19)

【公開番号】特開2013-146501(P2013-146501A)

【公開日】平成25年8月1日 (2013.8.1)

【年通号数】公開・登録公報2013-041

【出願番号】特願2012-11457(P2012-11457)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 3 6

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月19日 (2014.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体の取出しが制限され、所定の記憶部に記憶された遊技媒体数に基づいて遊技を行う封入式遊技機と、該封入式遊技機に対して前記記憶部に遊技媒体を記憶させるための処理を行う各台装置とを有する遊技システムであって、

前記各台装置は、

前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされたことを条件として、動作検査を行うための遊技媒体数を前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶させるための処理を行う動作検査移行制御手段と、

前記封入式遊技機の動作検査中であることを管理する動作検査管理手段と、

少なくとも前記動作検査管理手段が動作検査中であることを管理している場合に、前記封入式遊技機の遊技媒体に関する状態を取得する状態取得手段と

を備えたことを特徴とする遊技システム。

【請求項 2】

前記動作検査管理手段は、前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶された遊技媒体数を初期値にするための処理が行われたことを条件として、前記動作検査の終了処理を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技システム。

【請求項 3】

前記動作検査中には、前記遊技媒体を記録媒体に関連付ける処理を制限する制御を行う制限制御手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技システム。

【請求項 4】

前記各台装置は、前記遊技媒体の発射を指示する発射信号を生成する発射信号生成手段をさらに備え、

前記封入式遊技機は、前記各台装置より前記発射信号を受信した場合に前記遊技媒体を遊技領域に発射することを特徴とする請求項 1、2 又は 3 に記載の遊技システム。

【請求項 5】

前記発射信号生成手段は、前記遊技媒体の発射強度を指定する指定情報を含んだ発射信

号を生成し、

前記封入式遊技機は、前記各台装置より前記発射信号に含まれる指定情報に基づいた強度で前記遊技媒体を発射することを特徴とする請求項4に記載の遊技システム。

【請求項6】

遊技媒体の取出しが制限される封入式遊技機に対して前記遊技媒体の貸出処理を行う各台装置であって、

動作検査用の遊技媒体数を記憶する記憶手段と、

前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされたことを条件として、動作検査を行うための遊技媒体数を前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶させるための処理を行う動作検査移行制御手段と、

前記封入式遊技機の動作検査中であることを管理する動作検査管理手段と、

少なくとも前記動作検査管理手段が動作検査中であることを管理している場合に、前記封入式遊技機の遊技媒体に関する状態を取得する状態取得手段と

を備えたことを特徴とする各台装置。

【請求項7】

遊技媒体の取出しが制限される封入式遊技機であって、

動作検査用の遊技媒体数を記憶する記憶手段と、

前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされた際に、前記封入式遊技機による遊技の結果に基づいて前記動作検査用の遊技媒体数を管理する管理手段と

、
前記動作検査中には、前記遊技媒体を記録媒体に関連付ける処理を制限する制御を行う制御手段と

を備えたことを特徴とする封入式遊技機。

【請求項8】

遊技媒体の取出しが制限され、所定の記憶部に記憶された遊技媒体数に基づいて遊技を行う封入式遊技機と、該封入式遊技機に対して前記記憶部に遊技媒体を記憶させるための処理を行う各台装置とを有する遊技システムの動作検査方法であって、

前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされたことを条件として、動作検査を行うための遊技媒体数を前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶させるための処理を行う動作検査移行制御工程と、

前記封入式遊技機の動作検査中であることを管理する動作検査管理工程と、

少なくとも前記動作検査管理工程が動作検査中であることを管理している場合に、前記封入式遊技機の遊技媒体に関する状態を取得する状態取得工程と

を含んだことを特徴とする動作検査方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

かかる封入式遊技機の場合にも、上記開放式遊技機と同様に、ハンドルに付設されたバネ等の発射機構の適否を判定するために、遊技機の盤面に遊技球を発射する試し打ちが閉店後又は開店前に実施されることになる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

しかしながら、かかる特許文献1に代表される封入式遊技機は、機外に遊技球を排出し

ない遊技機であり、試し打ちを行うために遊技機の上皿に遊技球を投入する行為を行うことができないため、プリペイド価値、持玉数又は貯玉を関連付けた記録媒体を投入して試し打ちを行わざるを得ないのが実情である。その結果、不正を企図する店員が、試し打ちを装って持玉を獲得して悪用したりする不正を抑止することができないという問題がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、本発明は、遊技媒体の取出しが制限され、所定の記憶部に記憶された遊技媒体数に基づいて遊技を行う封入式遊技機と、該封入式遊技機に対して前記記憶部に遊技媒体を記憶させるための処理を行う各台装置とを有する遊技システムであって、前記各台装置は、前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされたことを条件として、動作検査を行うための遊技媒体数を前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶させるための処理を行う動作検査移行制御手段と、前記封入式遊技機の動作検査中であることを管理する動作検査管理手段と、少なくとも前記動作検査管理手段が動作検査中であることを管理している場合に、前記封入式遊技機の遊技媒体に関する状態を取得する状態取得手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明は、上記発明において、前記動作検査管理手段は、前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶された遊技媒体数を初期値にするための処理が行われたことを条件として、前記動作検査の終了処理を行うことを特徴とする。

また、本発明は、上記発明において、前記動作検査中には、前記遊技媒体を記録媒体に関連付ける処理を制限する制御を行う制限制御手段をさらに備えたことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明は、上記発明において、前記発射信号生成手段は、前記遊技媒体の発射強度を指定する指定情報を含んだ発射信号を生成し、前記封入式遊技機は、前記各台装置より前記発射信号に含まれる指定情報に基づいた強度で前記遊技媒体を発射することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明は、遊技媒体の取出しが制限される封入式遊技機に対して前記遊技媒体の貸出処理を行う各台装置であって、動作検査用の遊技媒体数を記憶する記憶手段と、前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされたことを条件として、動

作検査を行うための遊技媒体数を前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶させるための処理を行う動作検査移行制御手段と、前記封入式遊技機の動作検査中であることを管理する動作検査管理手段と、少なくとも前記動作検査管理手段が動作検査中であることを管理している場合に、前記封入式遊技機の遊技媒体に関する状態を取得する状態取得手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、本発明は、遊技媒体の取出しが制限される封入式遊技機であって、動作検査用の遊技媒体数を記憶する記憶手段と、前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされた際に、前記封入式遊技機による遊技の結果に基づいて前記動作検査用の遊技媒体数を管理する管理手段と、前記動作検査中には、前記遊技媒体を記録媒体に関連付ける処理を制限する制御を行う制御手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、本発明は、遊技媒体の取出しが制限され、所定の記憶部に記憶された遊技媒体数に基づいて遊技を行う封入式遊技機と、該封入式遊技機に対して前記記憶部に遊技媒体を記憶させるための処理を行う各台装置とを有する遊技システムの動作検査方法であって、前記封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされたことを条件として、動作検査を行うための遊技媒体数を前記封入式遊技機の前記記憶部に記憶させるための処理を行う動作検査移行制御工程と、前記封入式遊技機の動作検査中であることを管理する動作検査管理工程と、少なくとも前記動作検査管理工程が動作検査中であることを管理している場合に、前記封入式遊技機の遊技媒体に関する状態を取得する状態取得工程とを含んだことを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明によれば、封入式遊技機の動作検査を行う所定の動作検査移行操作がなされたことを条件として、動作検査を行うための遊技媒体数を封入式遊技機の記憶部に記憶させるための処理を行い、封入式遊技機の動作検査中であることを管理し、少なくとも動作検査中であることを管理している場合に、封入式遊技機の遊技媒体に関する状態を取得するよう構成したので、封入式遊技機の動作検査に伴う不正を効率良く防止することができる遊技システム、各台装置、封入式遊技機及び動作検査方法を提供することができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0087】

回転量センサ 27a は、ハンドル 21 の回転量を検知するセンサである。回転量センサ

27aは、検知した回転量を発射信号生成部27bに出力する。発射信号生成部27bは、回転量センサ27aがハンドル21の回転を検知した場合に、発射信号を生成して発射機構27cに出力する。この発射信号には、ハンドル21の回転量に対応した発射速度（発射強度）レベルが含まれている。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0088】

発射機構27cは、制御部26から発射許可を受け、且つ発射信号を受け付けた場合に、発射速度（発射強度）レベルに対応する強度で遊技球を遊技領域に発射し、制御部26に対して発射通知を行う。制御部26は、持玉データ23bが示す持玉数が0より大きい場合に発射機構27cに対して発射許可を出力し、発射機構27cより発射通知を受け付けた場合に持玉データ23bが示す持玉数を1減算する。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0089】

また、発射機構27cは、台間カード処理機10からも発射信号を受け付ける。台間カード処理機10から発射信号を受信した場合には、ハンドル21が回転していなくとも遊技球が発射される。このため、動作検査のための遊技球の発射を自動で行うことができる。台間カード処理機10が送信する発射信号は、発射信号生成部10g2により生成される。発射信号生成部10g2により生成された発射信号にも、発射信号生成部27bが出力する発射信号と同様に、発射速度（発射強度）レベルが含まれている。従って、台間カード処理機10の発射信号生成部10g2が異なる発射速度（発射強度）レベルを有する複数の発射信号を生成することにより、多様な発射速度（発射強度）で遊技球を発射した場合の動作を確認することができる。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0093

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0093】

図6（b）に示した状態からリセットボタンを操作すると、図6（c）に示すように打込玉数及び賞出玉数が「0」にクリアされ、出玉率が「0%」である。また、滞留時間判定結果は「滞留時間異常なし」にクリアされる。リセット操作後、発射信号生成部10g2が発射信号を生成したならば、発射方法表示は「自動」となり、生成された発射信号に基づいて遊技球が発射され、打込玉数、賞出玉数及び出玉率が更新される。また、生成した発射信号の発射速度（発射強度）レベルの範囲を示す「玉発射レベル」と、生成予定の発射信号の数を示す「発射残り玉数」と、発射信号の生成を停止するための停止ボタンが表示される。